

平成27年度

国臨協関信支部
神奈川県地区会
会報誌・総会資料
第60号



日時：平成28年10月8日（土） 13:00～

会場：あーすぷらざ（神奈川県立地球市民かながわプラザ）

平成27年度

第35回国臨協関信支部神奈川地区会定期総会研修会日程

1. 日時：平成28年10月8日（土）13：00～
2. 場所：あーすぷらざ（神奈川県立地球市民かながわプラザ）1F会議室
3. プログラム
 - 1) 受付 13：00～
 - 2) 学術講演 13：30～14：30
西田 浩徳 先生
シスメックス株式会社 東京支店 微生物ソリューショングループ
「薬剤耐性(AMR)対策アクションプラン(2016-2020)の現状と重要性について」
 - 3) 研修会講演 14：40～15：40
林 亮 先生
独立行政法人国立病院機構 関東信越グループ医療担当
臨床検査専門職
「伝達事項ならびに会員の皆様にむけて」
 - 4) 定期総会 15：50～16：30
4. 懇親会 17：30～19：30
居酒屋 柚柚
鎌倉市大船1-11-20 鎌倉石原ビル4F 大船駅東口徒歩1分
0467-42-7101

平成28年度

第35回国臨協関信支部神奈川地区会定期総会研修会

総会次第

- | | |
|----------------------|-------|
| 1. 開会の辞 | 事務局長 |
| 2. 会長挨拶 | 会長 |
| 3. 来賓挨拶 | 関信支部長 |
| 4. 議長選出 | |
| 5. 書記任命 | |
| 6. 議事 | |
| 1) 平成27年度経過報告 | 事務局長 |
| 2) 平成27年度会計報告 | 会計理事 |
| 3) 平成27年度会計監査報告 | 会計監査 |
| 7. 議案審議 | |
| 1) 第1号議案 平成28年度事業方針案 | 事務局長 |
| 2) 第2号議案 平成28年度予算案 | 会計理事 |
| 3) その他 | |
| 8. 平成28年度役員選出 | 事務局長 |
| 1) 新旧役員挨拶 | |
| 9. 議長、書記解任 | |
| 10. 閉会の辞 | 事務局長 |

平成27年度経過報告

1. 平成28年1月16日(土)
国臨協関信支部地区代表者会議出席(会長)(於:国立がん研究センター中央病院)
2. 平成28年1月27日(水)
平成27年度(第1回)神奈川地区理事会開催
(於:神奈川県民センター 9Fカンファレンスルーム:横浜駅西口)
3. 平成28年4月20日(水)
平成27年度(第2回)神奈川地区理事会開催
(メール理事会)
4. 平成28年5月30日(月)
第59号神奈川地区会会報誌発行
5. 平成28年6月11日(土)
国立病院臨床検査技師長協議会「関東信越支部地区会長会議」出席(会長)
6. 平成28年6月18日(土)
平成27年度(第3回)神奈川地区理事会開催
(於:横浜ワールドポーターズ6F会議室2)
7. 平成28年6月18日(土)
レクリエーション(カップヌードルミュージアム33名、懇親会31名)
8. 平成28年9月10日(土)
国臨協関信支部学会地区会コーナー(ポスター掲示)
9. 平成28年9月13日(火)
平成27年度(第4回)神奈川地区理事会開催
(於:神奈川県民センター 9Fカンファレンスルーム:横浜駅西口)
10. 平成28年10月1日(土)
会計監査
(於:国立病院機構 神奈川病院)
11. 平成28年10月3日(月)
第60号神奈川地区会会報誌発行
12. 平成28年10月8日(土)
第35回神奈川地区会定期総会開催
神奈川県立地球市民かながわプラザ
13. 学術講演会
平成28年10月8日(土)
講演内容「薬剤耐性(AMR)対策アクションプラン(2016-2020)の現状と重要性について」

講師：シスメックス株式会社
東京支店 微生物ソリューショングループ
西田 浩徳 先生

14. 研修会講演

講演内容「伝達事項ならびに会員の皆様にむけて」
講師：関東信越グループ担当 臨床検査専門職
林 亮 先生

15. 懇親会

平成28年10月8日（土） 17:30～
居酒屋「柚柚」 大船駅東口徒歩1分

平成27年度受領文書

1. 平成27年度国臨協関信支部地区代表者会議出席依頼
平成27年11月16日 国臨協関信支部長
2. 国立病院臨床検査技師長協議会「関東信越支部地区会長会議」の開催について
平成28年4月30日 国臨技関信技長会
3. 国立病院臨床検査技師協会関信支部被表彰者（支部表彰）推薦依頼
平成28年6月8日 国臨協関信支部長
4. 第44回国臨協関信支部学会『地区会コーナー』設置について（依頼）
第44回国臨協関信支部学会『地区会コーナー』審査員推薦について（依頼）
平成28年6月20日 国臨協関信支部長
5. 神奈川地区会定期総会・研修会出席について
平成28年9月6日 国臨協関信支部長

平成27年度発送・発刊文書

1. 神奈川地区会発1号 平成27年11月16日
関東信越グループ臨床検査専門職 林 亮 氏宛
神奈川地区会定期総会・研修会出席御礼
2. 神奈川地区会発2号 平成27年11月16日
国臨協関信支部支部長 峰岸 正明 氏宛
神奈川地区会定期総会・研修会出席御礼
3. 神奈川地区会発3号 平成27年11月16日
国立感染症研究所感染症疫学センター第2室長 砂川 富正 氏宛

神奈川地区会研修会講演御礼

4. 神奈川地区会発4号 平成28年1月7日
神奈川地区会理事宛
平成27年度第1回神奈川地区会理事会開催について
5. 神奈川地区会発5号 平成28年4月25日
神奈川地区会理事宛
神奈川地区会会報誌原稿依頼について
6. 神奈川地区会発6号 平成28年6月7日
神奈川地区会理事宛
平成27年度第3回神奈川地区会理事会開催について
7. 神奈川地区会発7号 平成28年8月31日
神奈川地区会理事宛
平成27年度第4回神奈川地区会理事会開催について
8. 神奈川地区会発8号 平成28年9月5日
関東信越グループ総括長 齋藤 清 氏宛
神奈川県臨床検査技師長協議会業務検討勉強会ならびに
国臨協神奈川地区会研修会への臨床検査専門職派遣依頼について
9. 神奈川地区会初9号 平成28年9月5日
関東信越グループ 医療担当 臨床検査専門職 林 亮 氏宛
神奈川県臨床検査技師長協議会業務検討勉強会ならびに
国臨協神奈川地区会研修会への臨床検査専門職派遣依頼について
10. 神奈川地区会発10号 平成28年9月5日
国立病院臨床検査技師協会 関信支部長 峰岸 正明 氏宛
第35回神奈川地区会定期総会・研修会の出席依頼について
11. 神奈川地区会発11号 平成28年9月5日
シスメックス株式会社
東京支店 微生物ソリューショングループ 西田 浩徳 氏宛
第35回神奈川地区会研修会講演依頼について
12. 神奈川地区会発12号 平成28年9月14日
神奈川地区会会員宛
平成27年度第35回国臨協関信支部神奈川地区会定期総会・研修会開催のお知らせ

国臨協関信支部神奈川地区会
 平成27年度 第35回国臨協関信支部神奈川地区会 会計報告

会計年度:平成27年10月1日～平成28年9月30日

収入の部

(単位・円)

項目	予算額	執行額	差異	備考
会員会費	32,500	32,000	500	500×64名(*)
助成金	30,000	30,000	0	
前年度繰越金	148,722	148,722	0	
小計	211,222	210,722	500	
総会懇親会費	—	122,850	—	3500×31名, 2450×3名, 2000×1名, 5000×1名
レクリエーション会費	—	33,000	—	1000×33名
レクリエーション懇親会費	—	148,800	—	4800×31名
小計	—	304,650	—	
合計	211,222	515,372	—	

(*) 相模原26名、横浜23名、神奈川8名、久里浜6名、箱根1名:計64名

支出の部

(単位・円)

項目	予算額	執行額	差異	備考
総会運営費	40,000	30,000	10,000	
運営費	10,000	0	10,000	
講師謝礼	30,000	30,000	0	講師2名分
事務通信費	15,000	10,800	4,200	地区会ポスター作製費
交通費	40,000	40,556	△ 556	理事交通費・行動費、会議室利用費
予備費	116,222	0	116,222	
小計	211,222	81,356	129,866	
総会懇親会費	—	133,350	—	平成26(2)年度総会懇親会
レクリエーション費	—	33,000	—	
レクリエーション懇親費	—	148,813	—	
小計	—	315,163	—	
合計	211,222	396,519	—	

* 差異欄の記載方式は「予算」から「執行」の金額を差し引き、その差額がマイナスであれば△印を付して表示しています。

繰越金

収入執行額合計 - 支出執行額合計 = 118,853円

上記の残高(118,853円)を平成28年度に繰り越しました。

会計監査報告

平成28年10月1日、国立病院機構 神奈川病院において平成27年度神奈川地区会の会計監査を実施し、適正に運用されておりましたことを認めます。

平成28年10月1日

会計監査

金子 晃



第1号議案

平成28年度事業方針

年間行事予定

- | | |
|---------------------|-------|
| 1) 第1回地区会会報誌発行 | 5月下旬 |
| 2) 地区会レクリエーション | 6～7月頃 |
| 3) 関信支部学会での地区会紹介 | 9月上旬 |
| 4) 第2回地区会会報誌発行 | 10月中旬 |
| 5) 神奈川地区会総会、講演会、懇親会 | 10月下旬 |

第2号議案

国臨協関信支部神奈川地区会			
平成28年度 第35回国臨協関信支部神奈川地区会 会計予算(案)			
収入の部		(単位・円)	
項目	平成27年度 執行額	平成28年度 予算額	備考
会員会費	32,000	34,000	500円×68名 (*)
助成金	30,000	30,000	H28年度より
前年度繰越金	148,722	118,853	
合計	210,722	182,853	
(*) 相模原 28名、横浜 23名、神奈川 8名、久里浜 7名、箱根 2名 : 計 68名			
支出の部		(単位・円)	
項目	平成27年度 執行額	平成28年度 予算額	備考
総会運営費	30,000	40,000	
運営費	0	25,000	会場費、機材レンタル料等
講師謝礼	30,000	15,000	1名分
事務通信費	10,800	15,000	地区会ポスター制作費等
交通費	40,556	40,000	理事7名分 交通費・行動費
予備費	0	87,853	
合計	81,356	182,853	

平成28年度国臨協関信支部神奈川地区会役員（案）

会 長 稲葉 孝 （久里浜医療センター）

事務局長 金子 勇 （神奈川病院）

理 事 久保 順一（箱根病院）

理 事 鈴木 芳明（相模原病院）

理 事 三五 朋子（相模原病院）

理 事 安田 秀平（横浜医療センター）

理 事 高橋 千尋（横浜医療センター）

会計監査 竹内 智明（相模原病院）

学術講演 要旨

薬剤耐性（AMR）対策アクションプラン(2016-2020)の現状と重要性について

シスメックス株式会社 東京支店 微生物ソリューショングループ
西田 浩徳

多剤耐性緑膿菌(MDRP)、多剤耐性アシネトバクター(MDRA)、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)といった薬剤耐性グラム陰性桿菌による感染症が広がり、医療機関において大きな問題となっています。また、動物用抗菌薬については、畜産や養鶏の場で、動物に対する疾病治療や発育促進を目的に動物用抗菌薬や抗菌性飼料添加物が大量に用いられています。動物の体内で耐性菌が選択され、家畜や食品、環境汚染を介してヒトに広がる可能性があり、ヒトに伝播・感染症を引き起こした場合に、抗菌薬による治療効果が十分に得られない可能性が指摘されています。このような事実より、ヒト、動物、環境を含めた、世界的規模での取組（ワンヘルス・アプローチ）が必要であるという認識が共有されるようになり、2011年に世界保健機関(WHO)は、世界保健デーで薬剤耐性を取り上げ、世界的な取り組みを推進する必要性を国際社会に訴えました。2013年にはG8(主要8カ国首脳会議)にて薬剤耐性の脅威に関する共同声明を発表し、2014年には、WHO(世界保健機関)が世界の薬剤耐性の現状に関する初の動向調査報告を発表、それを受け、2015年5月の世界保健総会では、「薬剤耐性(AMR)に関するグローバル・アクション・プラン」を発表し、日本国内においても2016年4月に薬剤耐性(AMR)アクションプランが制定され、ワンヘルス・アプローチの強化と新薬等の研究開発の必要性について議論されています。

国内のアクションプランとして、①普及啓発・教育、②動向調査・監視、③感染予防・管理、④抗微生物薬の適正使用、⑤研究開発・創薬、⑥国際協力の6項目を掲げ、加盟各国の中で唯一日本だけが、具体的な数値目標を設けています。(WHOが発表した世界行動計画は教育・啓発、研究・サーベイランス、感染予防、抗微生物薬の適正使用、新薬への投資の5項目)

③感染予防・管理、④抗微生物薬の適正使用は既に多くの医療機関で対策を講じていると思われませんが、アクションプランで掲げている数値目標達成には、医療に関わる人々の強い理解がなければ、困難と思われれます。例えば上気道炎(かぜ症候群等のウイルス感染)の場合の多くは抗菌薬不要とされていますが、多くの患者様に抗菌薬が処方されているとの報告があります。必要性の低い症状への抗菌薬投与の減少は、耐性菌発現の抑制につながります。

数値目標は一つの指標ではありますが、抗菌薬の適正使用による耐性菌の抑制、そこから発生する永続的な感染症診断につなげていく事が本来の目的であると考えます。

上記内容をふまえ、国内における薬剤耐性(AMR)アクションプランの背景と現状、また海外における取組についてご紹介させていただきます。

国臨協関信支部神奈川地区会会則

平成6年3月5日施行
平成17年2月26日 一部改訂
平成20年3月1日 一部改訂
平成21年3月7日 一部改訂
平成22年10月30日 一部改訂
平成24年4月1日 一部改訂
平成27年11月14日 一部改訂

(名称)

第1条 この会は、国臨協関信支部神奈川地区会(略称神奈川地区会)という。

(目的)

第2条 この会は、研究・学術ならびに知識の向上さらに施設相互の交流、会員相互の親睦等を図ることを目的とする。

(事業)

第3条 この会は、前条の目的達成のために、必要な事業を行う。

(事務所)

第4条 この会の事務局は、事務局長の担当施設に置く。

(単位)

第5条 この会は、国臨協関信支部と提携し、各施設毎に単位を置く。

(会員)

第6条 この会の会員は、神奈川県にある独立行政法人国立病院機構の病院ならびにセンターに勤務する検査科の職員とする。

(役員)

第7条 この会に、次の役員を置く。

会長1名、事務局1名、会計1名、理事若干名、会計監査1名。

(職務)

第8条 役員の職務は次の通りとする。

- (1)会長は、この会を代表し会務を総括する。
- (2)事務局は、本会の会務を司る。
- (3)会計は、本会の会計を担当する。
- (4)理事は、各会務を担当する。
- (5)会計監査は、本会会計を監査し総会に報告する。

(役員を選出)

第9条 役員を選出は次の通りとする。

- (1) この会の会長は、総会で承認することにより定める。
- (2) この会の理事は、各単位毎に選出し総会で承認する。
- (3) この会の事務局・会計は、理事会で互選する。
- (4) この会の会計監査は、次期総会担当施設が行う。

ただし、会計と会計監査が同施設の場合は理事会の協議により変更することができる。

(役員任期)

第10条 役員任期は、1ヵ年とするも再選を妨げない。

(役員補充)

第11条

- (1) 会長が任期途中で転勤、病気等で辞任した場合は、理事会で選任し次期総会で報告する。
- (2) 会長以外の役員が任期途中で転勤・病気等で辞任した場合、該当施設は速やかに後任者を選出しなければならない。

(会議)

第12条 この会は、次の会議を開催する。

- (1) 総会は、年1回開催し当日参集の会員をもって構成する。
- (2) 理事会は、会長、事務局長、会計、理事をもって構成する。

(会計)

第13条

- (1) この会の会計は、会員の会費等を以ってあたる。
- (2) この会の会費は、1年間1人500円とし、各単位毎に第1回理事会までに納入するものとする。すでに納入した会費、その他拠出金は返還しない。
- (3) この会の会計は、総会において会計報告及び会計検査報告をする。
- (4) この会の会計年度は、10月1日より翌年の9月30日迄とする。

(旅費規程)

第14条

- (1) この会の旅費は、交通費（普通車実費）とする。
- (2) 行動費として500円支給する。

(付則)

- (1) この会の会則は、総会の了承を得られなければ改廃することが出来ない。
- (2) この会則は、平成22年11月1日から施行する。

(細則)

- 第1条 会則第12条1項の総会の開催場所は、各単位(施設)で持ち回りとする。順番は、独立行政法人国立病院機構 神奈川病院、相模原病院、横浜医療センター、久里浜医療センター、箱根病院とする。
ただし、理事会の協議により変更することができる。
- 第2条 総会時の承認は、当日参集する会員の過半数の賛同をもって成立する。
- 第3条 次期会長候補は、理事会が推薦する。
理事会は、必要な場合文書等をもって協議することができる。
- 第4条 大規模施設等(相模原、横浜)からは複数名選出することができる。

神奈川県地区会会員名簿

平成28年10月1日現在

●NHO 相模原病院

林 亮
竹内 智明
原田 宏美
大矢 良之
中野 和明
屋代 達
鈴木 芳明
川上 正裕
倉部 裕
市川 喜代子
原田 哲也
安田 寿美子
福永 利恵子
安保 伸樹
三五 朋子
藤原 由貴乃
水野 正浩
福富 健司
中江 真莉子
幡野 廣樹
吉田 陽子
鹿毛 亮祐
錦織 春菜
北浦 優紀
田中 敬涼
高工 飛鳥
水永 ちひろ
小川 桃世

●NHO 横浜医療センター

日吾 雅宜
國仲 伸男
小沼 進吉
與儀 浩
渡辺 和則
中村 泰代
小林 正弘
長井 俊道
古賀 裕
播井 美由紀
野中 照美
佐久間 みゆき
大畑 真利
高橋 千尋
畠山 奈帆子
山口 有希
志村 幸大
松島 麻衣子
李 平淑
井田 貴明
安田 秀平
下平 華奈子
中野 里美

●NHO 神奈川病院

小川 勝
金子 勇
立川 恵子
山田 貴正
山崎 直樹
東澤 恭介
中井 敦子
加山 新菜

●NHO 久里浜医療センター

稲葉 孝
山田 大助
竹内 智也
原 幸子
杉原 理恵
近藤 南
齋藤 ひとみ

●NHO 箱根病院

樋口 祐子
久保 順一

神奈川地区会報誌 第60号
発行日 平成28年10月3日

発行：日吾 雅宜
編集：山田 大助
久保 順一
東澤 恭介
三五 朋子
安田 秀平